



1. 中城公園について

中城公園は、那覇市から北へ約16km離れた沖縄本島の中部に位置し、中城村及び北中城村にまたがり、良好な歴史的、文化的環境を保持しているとともに、東シナ海を望む本県でも有数の景勝地となっています。

また、本公園の中心をなす中城城跡は、去る大戦の戦渦をまぬがれた貴重な文化遺産で、昭和47年に国の史跡に指定され、平成12年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつとして世界遺産に登録されています。

本公園は、中城城跡を核として、沖縄の歴史、文化、自然を積極的に体験、学習できる公園として整備を進めていく方針です。

2. 整備計画地のゾーニング計画について

整備計画地は『自然共生エリア』に位置付けられており、駐車場を設けるとともに、多目的広場を整備し、ファミリーや団体客のレクリエーション活動、野外イベント等に対応できるよう整備しております。

現在、砂場やアスレチック広場、トランポリン遊具などを設置しており、今後キャンプ場の整備及び池周りの園路や花壇の整備を企画しております。

また、斜面を利用した芝広場をつくり草スキー等多様な野外レクリエーション活動へ対応する方針です。



3. 南遊具広場トイレの整備について

(1)現況

平成 28 年度から平成 30 年度までの中城公園利用者の集計から、月に平均して約 14,000 人から 16,000 人程度の利用者がいます。

また、本計画地であるトランポリン遊具のある南遊具広場において月に平均約 4,500 人から 6,300 人程度利用者がおり、中城公園全体の利用者のうち、およそ 3 割が利用している現状です。

(2)整備目的

トランポリン遊具から西駐車場にあるトイレまで 200m ほど距離があることから、トイレの企画検討は、トランポリン遊具のある南遊具広場に隣接することが求められています

整備方針としては、親子の利用、バリアフリー化などが必要となります。

併せて、保護者が日陰で見守るための休憩スペースの併設が必用となります。

(3)必須条件

トイレは、以下を必須条件とします。

- ①便器の設置数は男性大・小各1器、女性2器、多目的1器とすること。
- ②公園の景観に配慮すること。
- ③児童及び車椅子の利用者について配慮すること。
- ④防犯及びプライバシーに配慮すること。
- ⑤保護者利用を考慮し、休憩スペース(日陰、ベンチ)を設置すること。
- ⑥工事費については、2,200 ~ 3,000 万円以内(諸経費、消費税を含む)とすること。

(4)整備位置

南遊具広場トイレの設置範囲は、参考図の水色部分とし、(3)必須条件を満たすトイレをご提案下さい。

○参考図



(4)整備スケジュール

南遊具広場トイレの整備スケジュールは、以下のとおり想定しています。

	平成31年度/令和元年度				令和2年度				令和3年度			
U40設計競技												
実施設計												
トイレ整備												